

挑戦(チャレンジ)

職業についてお話しいただきました！！



22日(金)に遠州ありがたいの会理事長 黒柳誠様をお迎えして職業についてのお話をいただきました。ご自身が今現在に至る経緯とその背景を話しながら、働くことの意義や心構え、職業選択の条件などのお話を聞きました。生徒たちは興味深く話を聞いていました。今回のお話で自分が将来就くであろう職業について、少しでも考えてくれたらよいと思います。以下に、生徒たちの感想を載せておきます。

1組 阿部宏紀

黒柳さんのお話を聞いて、実体験を踏まえながら話をされていて、とてもよい話でした。例えば、客に対しては笑顔で対応したり、言葉遣いや行動を見直したりしてよい習慣をつくることで自分の役に立てることができるという話でした。僕にとっては、とてもよい話で勉強になりました。なので、この話を生かして今後就職を決めるときや就職した後に役立てていきたいと思いました。

2組 藤田留李華

先日はお忙しい中ありがとうございました。私は職業講話で「プラス言葉」と「マイナス言葉」のお話が心に残っています。確かに、「マイナス言葉」を考えたり、言ったりすると、行動もマイナスになると思いました。そして自信がなくなってしまうのです。私は普段、マイナス言葉を部活や勉強の時に多く使ってしまう。でもこれからは、マイナス言葉をプラス言葉にかえていこうと思いました。そして、いつも笑顔でいようと決めました。「ちかくどうこう」←→「ともかくうごこう」という言葉を忘れず、常に心の中、頭の中にしまってお意識できるようにしたいです。行動してみないと何も始まらないということを改めて知ることができました。

3組 新村英夢夏

私は黒柳さんのお話を聞いて、社長や偉い人たちは、誰もがいい大学、高校に行っていたわけではなく、誰かの言葉や出来事がきっかけで、そこに上り詰めたことがわかりました。そして、言葉遣いから直して、性格が変わることがわかりました。自分もできないことがあったら、それに向かって努力して、言葉遣いもプラス言葉を使っていきたいと思いました。世界を変えた人々は、昔からいいところに生まれていたり、恵まれていたりしなかったことがわかって、自分も頑張ろうと思いました。

4組 森重美紅

私が職業講話を聞いて特に心に残ったことは2つあります。1つ目は、「知覚動行」です。講師の黒柳さんは、これをしたから今の仕事ができているのだと思います。私は、知って、覚えて、考えても、行動に移せないことが多いです。でも講話を聞いて、考えているだけでは前に進まないから、「でも…」という前に行動してみることが大切だと思いました。2つ目は、働くとは人のために動くということです。前まではお金をもらうために仕事をするのだと思っていました。でも、講話を聴いて、「人のために動く」と考えれば、同じ仕事をしていてもできることが増えると思いました。講話で聞いたことをこれからの生活や将来働くときに生かして、黒柳さんのような明るく楽しい人生を送りたいと思いました。





5組 和久田七星

私は、この講話で失敗を恐れないことと3つの習慣を学びました。私は今まで失敗をしないようにしていましたが、失敗をすることは恥ずかしくないことと知り、様々なことに挑戦して、たくさん失敗して自分を成長させたいです。失敗しても諦めないで次に進んでいきたいと思いました。次に、3つの習慣は「行動」「考え」「言葉」ということが関わっていることを学びました。マイナスの言葉ばかり言っていると、行動、考えもマイナスな方向に行ってしまうことがわかりました。今までの自分の生活は社会に出ても消えずに、自分が一生懸命頑張っても相手にはやる気がないと思われてしまうことがわかりました。だから、今から自分の生活を見直し良い3つの習慣を身につけたいです。

6組 鈴木龍馬

仕事は楽しくやって、普段もポジティブなことは大切なことだと思いました。ネガティブだった人とか仕事楽しくないと思っていた人も変わることができることがわかりました。自分で考えて行動することを早くできるようにしていきたいです。一つ一つのことをプラスに考えて、どういうように改善したら良いのか自分で見つけていきたいと思いました。考えが変わると行動も変わって人も変わると思うので、普段の生活で生かしていきたいと思います。



ある本に仕事選びの大切な基準が出ていました。黒柳さんのお話に通じることが多いですね。お子さんと話すときの参考にしてください。

仕事の選び方の基準① 一生の仕事にできるかどうか

「一生の仕事にできるかどうか」を仕事の選び方の基準にしている人は、意外と多いです。一生の仕事にできると思えば、いざ入社してから辛い出来事があっても、「将来のため」「自分のため」と考えられるでしょう。また、やりがいも感じられるはずです。

仕事の選び方の基準② その仕事が好きかどうか

好きなことを仕事にできれば、どんなに辛くてもある程度は乗り越えられるでしょう。また、日々のなかで、自発的に努力を繰り返すことができるはずです。好きに勝る魅力というのは、そうそうあるものではありません。

仕事の選び方の基準③ 人に誇れるかどうか

「自分はこんな仕事をしている」というように、人に誇れる仕事であるかどうかを、仕事の選び方の基準にしている方も多いです。人に誇れるような仕事に就けば、いつだって己の自尊心を満たしてくれますし、その自尊心がモチベーションに繋がり、仕事もますます頑張れるようになります。

仕事の選び方の基準④ 社会に貢献できているか

仕事の選び方の基準としては、「社会に貢献できているか」も大切なポイントです。「社会に貢献できている」と感じられない仕事を選べば、途中でやりがいを見失い、退職してしまう可能性があるでしょう。社会に貢献できているかという基準は、先述した「人に誇れるかどうか」に通ずる部分があるのです。

仕事の選び方の基準⑤ 適性があるかどうか

仕事の選び方の基準として、「その仕事に対する適性を持っているかどうか」で判断する人も多いです。自分が「やりたい」と思う仕事に就いた結果、適性の問題で思うように仕事を進めることが出来ず、思い悩んでしまうことがあります。「やりたい」と思う仕事に就いたからと言って、幸せになれるとは限らないのです。